



金屋町通信

発行元：

金屋町まちづくり協議会

発行責任者：般若陽子

編集責任者：般若慎一郎

12月に「高岡城の魅力を語る講演会」というのがあり聞いてきました。この種のセミナーには珍しく、ふれあい福祉センター多目的ホールがほぼ満席の盛況でしたが、講師の中井均さんが城郭研究で著名な先生であることだけでなく、高岡人が高岡城に強い興味を持っているということでしょう。中井先生の専門分野は城郭と言っても建築物ではなく、縄張り＝グランドプランだそうで、そういう視点から見ると高岡城には建物は無くても堀や土塁などがほぼ築城当時のまま残っており、国内の城の中でも最高レベルの残り様だそうです。なお高岡城は、財団法人日本城郭協会が定めた日本百名城に県内で唯一選定されているそうです～知りませんでした。

いています。

新しい年を迎えるにあたり、先人たちの苦労と伝統の重みをひしひしと感じます。この歴史をしっかりと見据えて、これからの金屋町を皆様と共に守り育て、環境を整備し、活力ある町、住み易い町、品格のある町、大好きな我が町として次代の孫やひ孫たちに、愛する、誇れる町として引き継いでいけるように、頑張っていきたいと思っています。

どうか本年もよろしくお願い申し上げます。



まちづくり協議会会長
般若陽子

明けましておめでとうございます。皆様、ご家族おそろいで佳き新年をお迎えのことと存じます。顧みますと、昨年も天災・人災等々、災害の多い年でした。そんな時こそ、やはり地域の絆・住民どうしの結束が、より求められます。

さて昨年、金屋町は国の重要伝統的建造物群保存地区に答申されました。全国102箇所の中、ただ1箇所「鋳物師町（いもじまち）」としての選定です。金屋町では400年ですが、日本に鋳物が発祥して約1,300年余です。鋳物の歴史と文化が、今も私たちの生活の中に息づ

歴史・文化資産を

生かしたまちづくり

中心市街地活性化

全国リレーシンポジウム in 高岡

11月20日に主題のシンポジウムが、ウィングウィング高岡にて開催されました。

これは「中心市街地活性化法」に基づき国の支援を受けて中心市街地の再活性化に取り組んでいる市が全国で107あるが、そのうち21の市と内閣府などが共同で、お互いの取り組み事例を発表しあう形で、10月から来年2月までの期間にリレー方式で開催されているものです。高岡市会場の場合は「歴史・文化資産を生かしたまちづくり」をキーワードに、越前市、白河市、大垣市、高岡市の各市長がそれぞれの取り組み状況を発

表し、意見交換しました。



家持くん 利長くん

共通する問題点として、合併により中心市街地が複数になった、新幹線新駅建設により中心市街地が中心でなくなった、中心市街地は人口減少が他地域より大、高齢化率が高い、民生費増が大などが指摘されました。

活性化へ向けたキーワードとして、アクティブシニアの活用、住民参画推進、市全体をコンパクト化、若者を定住させる仕掛け作り、日常生活の中に仕事を作る、町はきれいなだけでなくわくわくする面白いことが必要、歩いて楽しめるまちづくり、パワースポット発見・創造、ストーリー作り、ネットワーク化、コラボレーション、などが提言されていました。

問題点も改善策も、まさに高岡市にも、金屋町にも共通することであり、ヒントが多々あったと感じたところです。

伝統工芸の町に前衛美術館

続・創造都市 金沢市の事例

創造都市金沢を目指す政策の一環として2004年に金沢21世紀美術館が建設されましたが、建設にあたって市民の意見は賛成・反対の二つに分かれ、討論が巻き起こった。将来的に評価が定まっていなかった現代アート作品に多額の税金を費やすよりも、既に評価が定まっている人間国宝の作品を蒐集するほうが良いのではないかという批判的な意見もありました。

しかし当時の金沢市長は「伝統は革新の連続であって、いつの時代にも前衛的なものが伝統に積み

重なってこそ、生命力が維持できる。これからの金沢文化の担い手である若者達に世界の最先端の芸術に身近に触れる機会が無ければ、金沢は文化都市の歩みを止めてしまうことになる」と応じたそうです～なんと素晴らしい見識を持った市長さんだと思いました。

むしろ、このような町を二分する騒々しい討論の中で、創造都市金沢の地歩が固まったとも言える。

21世紀美術館が与えたインパクトは経済効果のみでなく、激論を通じた社会的文化的インパクトこそ、金沢に付与した価値であろうという見方ができます。



21世紀美術館が与えたインパクトは経済効果のみでなく、激論を通じた社会的文化的インパクトこそ、金沢に付与した価値であろうという見方ができます。

串田幹夫さんが社会教育功労者表彰



宮川町の串田幹夫さんが社会教育功労者として、高岡市教育委員会から表彰を受けられました。ボーイスカウトの世話役活動を永年勤め、子供達の社会教育に貢献したことが評価されたものです。おめでとうございます。

鋳物資料館改造計画

鋳物資料館がリニューアル工事のため12月17日から3月19日まで休館中ですが、リニューアルの要点は以下の3点です。

- ①第2展示室を改造すると共に展示レイアウトを変更し、石畳側出入り口を本来の第2展示室に移す。これにより来客が入りやすい動線とする。
- ②各展示室に防犯用監視カメラを設置する。
- ③中庭の連絡通路に屋根を設置する。